



埋設管の土砂撤去費用の負担はどうか！



地域防災に欠かせない消防団

## 維持管理費用は町が出すべきだ！ 集落区との連携の中で対応します



西谷 尚議員

福岡区の大規模排水施設の維持管理に関する負担軽減の必要があり、当然町が維持管理す

べきだ。

また、集落区に対する負担をどのように軽減出来るかが行政の仕事であり、その負担を減らさないと、集落区の人口減少や高齢化により、若いもんが不在の中で、年配の方々が大きな石や土砂を撤去することは無理である。業者委託の

一部負担は町が支援してくれると言われているが、足りない分に関しては、自分達の集落区が負担しなければならぬのか！

町長 地元でやるのが当然だと思います。

この水路は、法定外公共物とされており、日常の管

理や小規模な修繕は地元の協力をお願いしています。

大規模な改修等が必要な場合は、必要に応じて地域と連携して対応や検討をし、管理に努めたいと考えています。

## 消防団員の運転免許取得に補助を

### 消防団と協議し、免許補助などを検討します



転できない。

- ① オートマチック限定免許証で消防車両を運転できない団員数は把握できているか。
- ② マニユアル車免許証を取得するための補助金を出してはどうか。

認を行っています。

② 国の施策として、将来的な該当消防車両を運転する団員確保の観点から、自治体が行う補助制度に対する特別交付税の措置が創設されています。消防車両を運転できない団員の増加による消防力低下を招かぬよう、消防団と協議して、車両更新時の4輪駆動オートマチック車等の選定や、マニユアル車免許補助の創設などを検討します。



松岡 大悟議員

現在、香美町消防団の団員数は800人を超えており、各分団にポンプ車及び積載車が配置されている。しかし、これらの車両はマニユアル車であり、オートマチック車限定免許証では運

町長

① 道路交通法の改正により準中型免許が創設された当時、全基本団員を対象に調査を行いました。以降の新入団員にも入団時に所持免許の確

